



Cisco Aironet 高ゲイン全方向性天井マウント アンテナ (AIR-ANT1728)

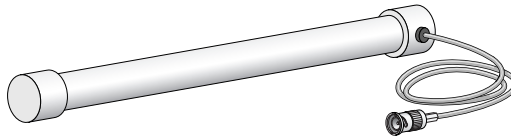
【注意】 この文書はお客様の便宜のために作成された参考和訳であり、お客様とシスコシステムズとの間の契約を構成するものではありません。正式な契約条件は、弊社担当者、または弊社販売パートナーにご確認ください。

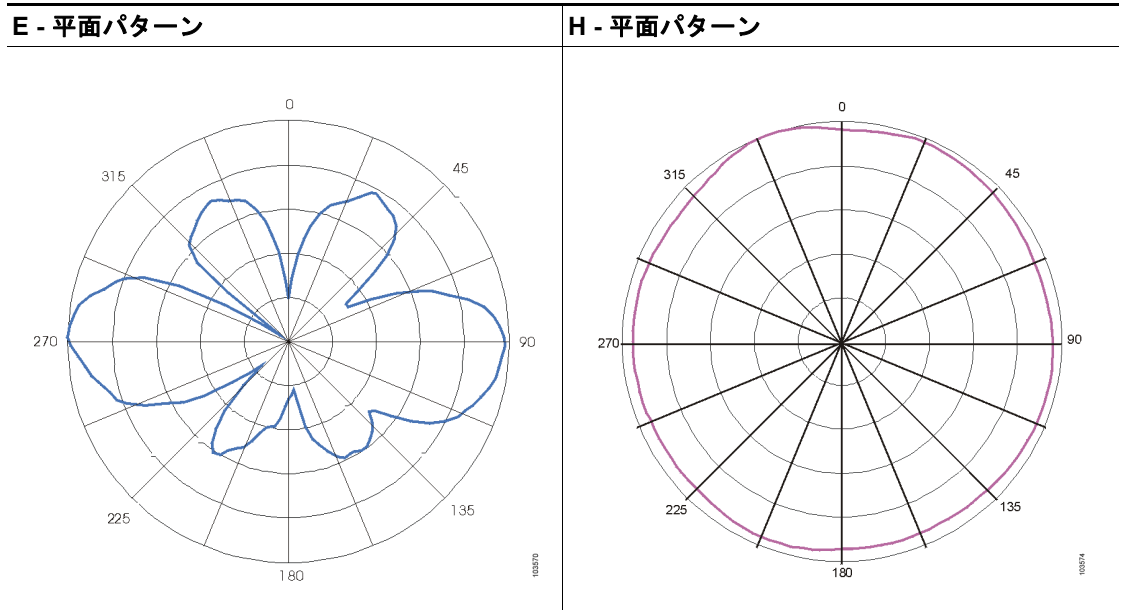
概要

このマニュアルでは、高ゲイン全方向性天井マウント アンテナの仕様、概要、および吊り天井トラックへの取り付け手順について説明します。2.4 ~ 2.5GHz の周波数範囲で動作する WLAN アプリケーション用に設計されたこのアンテナの公称ゲインは、5.2dBi です。このアンテナは、主にアクセス ポイントで使用されますが、Reverse Polarity-Threaded Neil Concelman (RP-TNC) コネクタを使用する Cisco Aironet 無線製品と互換性があります。



技術仕様

アンテナのタイプ	ダイポール	
動作周波数範囲	2.4 ~ 2.483GHz	
VSWR	2:1 未満 (公称 1.5:1)	
ゲイン	5.2dBi	
偏波	垂直	
E - 平面 (3dB 帯域幅)	40 度	
H - 平面 (3dB 帯域幅)	全方向性	
ケーブルの長さ	0.91m (3 フィート)	
ケーブルのタイプ	プレナム認定 RG-58	
寸法 (高さ × 幅)	29.2 cm × 3.2 cm (11.5 インチ × 1.25 インチ)	
重量	131g (4.6 オンス)	



システム要件

このアンテナは Cisco Aironet アクセス ポイントでの使用を目的として設計されていますが、RP-TNC コネクタを使用する 2.4GHz Cisco Aironet 無線デバイスでも使用できます。

取り付けに関する注意事項

取り付け場所の選択

アンテナの取り付け場所は重要です。金属製の柱、壁などの物体があると、アンテナの感度が悪くなります。送信アンテナと受信アンテナが同じ高さに取り付けられ、その間に障害物がない場合に、最大限の性能が得られます。このような条件を満たすことができず、受信感度が悪い場合は、別の場所に取り付けてみて、受信感度が最大になるようにする必要があります。

このアンテナは、20.6mm (13/16 インチ) ~ 31.7mm (1 1/4 インチ) の幅の標準吊り天井トラックに取り付けて、トラックから吊るようになっています。

必要な工具と備品

吊り天井トラックへのアンテナの取り付けには、次の工具と備品が必要です。

- 天井トラック ブラケット (アンテナに同梱)
- 11.1mm (7/16 インチ) のレンチ
- ケーブルタイまたは電気テープ

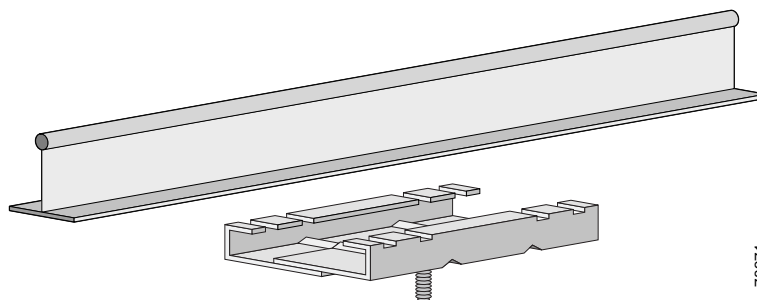
次の項では、吊り天井トラックへのアンテナの取り付け手順について説明します。

アンテナの取り付け

アンテナを吊り天井トラックに取り付ける手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** アンテナを取り付ける場所を決めます。
 - ステップ 2** 天井トラック ブラケットの六角ナットを緩めます。
 - ステップ 3** 天井トラックのブラケットの位置を決めます。図 1 を参照してください。

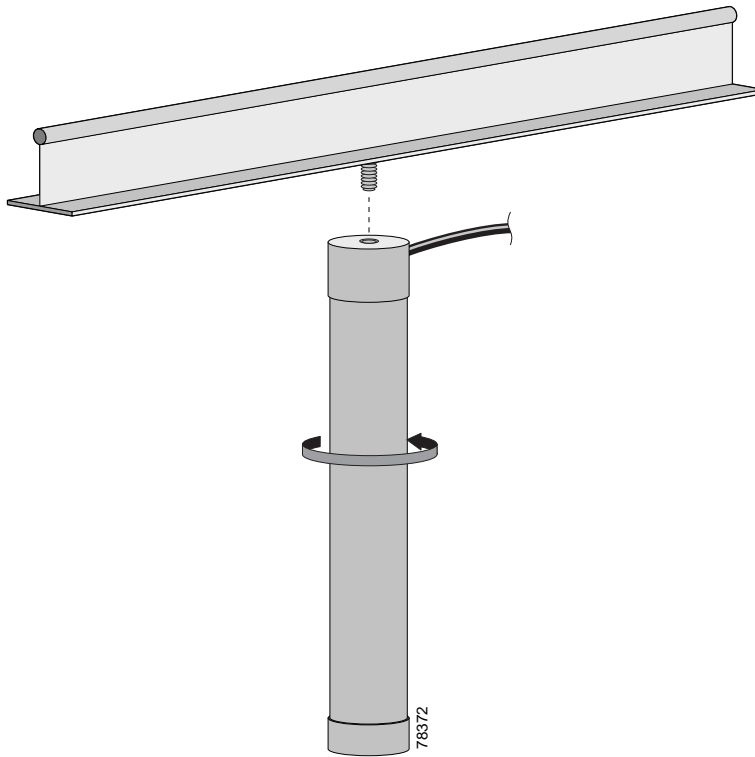
図 1 天井トラック ブラケットの位置決め



- ステップ 4** 天井トラックにブラケットをしっかりと押し込みます。
- ステップ 5** 11.1mm (7/16 インチ) のレンチを使用して、六角ナットを締めます。きつく締めすぎないように注意してください。

ステップ6 ブラケットのねじスタッドに、アンテナをしっかりと丁寧に締めます。図2を参照してください。

図2 アンテナの取り付け



(注) 別の取り付け器具を使用する場合は、ねじスタッドの長さが0.9cm (0.35インチ) 以下であることを確認してください。

ステップ7 ケーブルタイまたは電気テープを使用し、天井トラックに沿ってアンテナの同軸ケーブルを固定します。

推奨ケーブル

このアンテナには、高品質で損失の少ないケーブルを使用することをお勧めします。



(注) 周波数が高いほど、ケーブルでの損失が大きくなります。また、ケーブル長が長くなるほど、損失が大きくなります。

ドキュメンテーションの入手、サポートの入手、およびセキュリティ ガイドライン

ドキュメンテーションの入手、サポートの入手、ドキュメンテーションのフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨されるエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルについては、以下のアドレスの「*What's New in Cisco Product Documentation*」を参照してください。ここには、新規および改訂されたシスコのテクニカル ドキュメンテーションもすべて掲載されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

CCVP、the Cisco Logo、および the Cisco Square Bridge logo は、米国シスコシステムズ社の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn は、米国シスコシステムズ社のサービス マークです。Access Registrar、Aironet、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、CCSP、Cisco、the Cisco Certified Internetwork Expert logo、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、the Cisco Systems logo、Cisco Unity、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、Follow Me Browsing、FormShare、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、iPhone、IP/TV、iQ Expertise、the iQ logo、iQ Net Readiness Scorecard、iQuick Study、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networking Academy、Network Registrar、Packet、PIX、ProConnect、RateMUX、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StackWise、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国シスコシステムズ社および/または米国その他の国における関連企業の登録商標です。

本ドキュメントまたは Web サイトに記載されたその他の商標はすべて、それぞれの所有者の所有権に属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(0612R)

本ドキュメントに使用するインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスを意図していません。本ドキュメントに含まれる例、コマンド表示出力、および図は、説明を目的としてのみ表示されています。説明内容に実在の IP アドレスが使用されていても、意図したものではなく偶然によるものです。

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間 : 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

DOC-J-7818178=
78-18178-01-J